

智頭電機株式会社

大阪府門真市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

オーダーメイド生産設備の設計・製作で 日本のものづくりを支える

- 「生産設備の設計・製作～ライン製造・出荷～設備保全」のFA トータルサービスの提供
- 日系現地進出工場のものづくりを支える生産設備を地産地消でサポート
- 産業用ロボットに関する専門チームを有し、ロボットを活用した生産設備の設計・開発も可能に

企業基本情報

所在地	大阪府門真市向島町 1-8
電話/FAX	06-6901-5174/06-6905-1490
URL	https://www.chizudenki.co.jp/
代表者	代表取締役社長 芦谷 直人
設立	1953年
資本金	4,000万円
従業員数	106人



会社概要

生産設備の設計からライン製造、設備保全までの一貫したFA サービスを展開。また、産業用ロボットを用いた設計・製作にも対応できる体制を整え、ロボットの特性を活かした多品種少量生産の製造ライン向け等の設計・製作も可能となっている。中国とタイに拠点を構え、日系企業の海外進出にともなう、生産設備の受注に現地に対応することを可能としている。

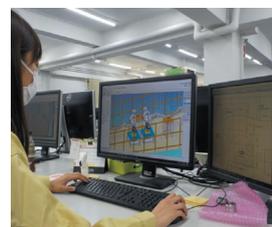


会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 生産設備の設計・製作から設備保全までのトータルサービス

工場のFA に資する生産設備の設計・製作からライン製造・出荷、設備保全まで、トータルサービスの事業を展開し、日本のものづくり企業を支えている。大手電器メーカーの生産設備に係る厳しい要望に応える事により、高速作業で高品質な製品を生み出す設備製作の基礎を築いてきた。その技術・経験・ノウハウを基に電気電子分野・自動車部品分野・食品飲料分野など各分野の顧客の要望に応え、加工工程から組立・検査・梱包工程まで幅広い設備製作の実績を有している。



女性も多く働く設計部門

▶▶▶ 日系現地進出工場のものづくりを支える生産設備をサポート

2008年に中国広東省東莞市と、2013年にタイサムットプラカーン県に現地独資法人を設立。日系進出企業をターゲットに省力化、高品質化を担う設備機械を現地で製造している。

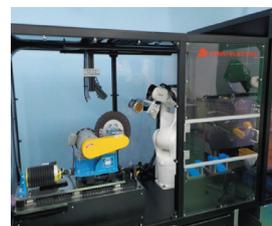
現地で顧客企業が高品質を狙う場合、日本製設備を日本から輸入することが多いが、コスト面では関税や輸送費なども含め高価な設備になりやすい。そこで現地において日本製と同じ設備を製作できるスキルをもったローカル人材を育成し、現地工場に対応することで、地産地消を実現し顧客からも評価されている。



上：中国工場、下：タイ工場

▶▶▶ ロボットを活用した生産設備の設計・開発を可能にする

ロボット専門チームを組織し、企業の生産設備へのロボット活用に対応する体制を整え、大手企業のロボット自動化ラインや中小企業のロボットによる省力化設備等で実績を積み上げた。日本のものづくりが大量生産から多品種少量生産へと移行する中、産業用ロボットの特性であるフレキシブルに対応できる生産ラインの提案が行え、産業用ロボットの特性を活かした提案力と、今まで育んできた生産設備に関する技術力と掛け合わせ、より柔軟に顧客のニーズに応えることが可能となった。



ロボットを活用した生産設備